

製品名: Cacna2d1 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab07818

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	123kDa

抗原情報

遺伝子名	CACNA2D1
別名	CACNA2D1; CACNL2A; CCHL2A; MHS3; Voltage-dependent calcium channel subunit alpha-2/delta-1; Voltage-gated calcium channel subunit alpha-2/delta-1
遺伝子 ID	781.0
SwissProt ID	P54289
免疫原	抗血清はヒト Cacna2d1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 90-139

背景

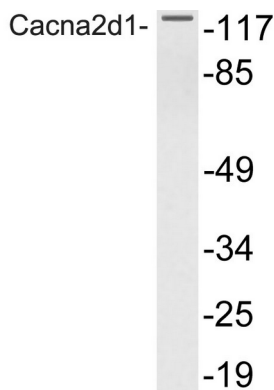
カルシウム電位依存性チャネル補助サブユニット $\alpha 2\delta 1$ (CACNA2D1) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるプレプロタ

ンパク質は、電位依存性カルシウムチャンネル複合体の $\alpha 2$ サブユニットと δ サブユニットを構成する複数の鎖に切断される。カルシウムチャンネルは、膜分極時に細胞内へのカルシウムイオンの流入を媒介する。この遺伝子の変異は、ブルガダ症候群や QT 短縮症候群などの心不全を引き起こす可能性がある。選択的スプライシングによって複数の転写産物バリエーションが生じ、その中には δ サブユニット部分が欠損しているものがある。 [RefSeq 提供、2014 年 11 月],ドメイン:VWFA ドメインの MIDAS 様モチーフは、二価金属カチオンに結合し、インテグリン様スイッチによって α -1(CACNA1)サブユニットの細胞膜への輸送を促進するために必要です。機能:電圧依存性カルシウムチャンネルの α -2/ δ サブユニットは、カルシウム電流密度とカルシウムチャンネルの活性化/不活性化速度を制御します。興奮収縮連関において重要な役割を果たします。その他:抗てんかん薬のガバペンチンに結合します。PTM:タンパク質分解により、ジスルフィド結合したサブユニット α -2-1 および δ -1 に処理されます。類似性:カルシウムチャンネルサブユニット α -2/ δ ファミリーに属します。類似性:1 つのキャッシュドメインを含みます。類似性:1 つの VWFA ドメインを含みます。サブユニット: α -2-1 鎖と δ -1 鎖から形成された二量体で、ジスルフィド結合しています。電圧依存性カルシウムチャンネルは、アルファ 1 (CACNA1)、アルファ 2 (CACNA2D)、ベータ (CACNB)、デルタ (CACNA2D) サブユニットが 1:1:1:1 の比率で構成されたマルチサブユニット複合体です。組織特異性:中枢神経系、骨格筋、大動脈組織。、

研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;心筋収縮;肥大型心筋症 (HCM);不整脈性右室心筋症 (ARVC);拡張型心筋症;

画像データ



Cacna2d1 抗体を使用した NIH/3T3 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。